【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【公表番号】特表2013-541409(P2013-541409A)
【公表日】平成25年11月14日(2013.11.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-062
【出願番号】特願2013-524504(P2013-524504)
【国際特許分類】
Ｃ０２Ｆ　1/00　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/386　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　17/08　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　17/06　(2006.01)
Ｂ０８Ｂ　3/08　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　9/26　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０２Ｆ　1/00　Ｐ
Ｃ１１Ｄ　3/386
Ｃ１１Ｄ　17/08
Ｃ１１Ｄ　17/06
Ｂ０８Ｂ　3/08　Ｚ
Ｃ１２Ｎ　9/26　Ａ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成27年6月30日(2015.6.30)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００３】
酵素は、タンパク質系の、炭水化物系の、またはトリグリセリド系の汚れを基材から除去するための望ましい活性を与えることができる。結果として、酵素は、汚れ、例えばグリース、油脂（例えば、植物油または動物性脂肪）、タンパク質、炭化水素などを分解（digest）もしくは分解（degrade）するために、種々の洗浄用途に用いられてきている。例えば、酵素は、洗濯、布帛、器物洗浄、現場洗浄、排水路、床、カーペット、医療用もしくは歯科用機器、肉切断用具、硬質表面、パーソナルケアなどのための組成物の成分として加えることができる。しかしながら、酵素洗浄製品は、基材から汚れを取り除く能力にのみ焦点が当てられていた。酵素製品は、アルカリ性のタンパク質分解酵素を含む単純な粉末から、複数の酵素を含むより複雑な顆粒状の組成物、そしてなお更に酵素を含む液体組成物へと、進化してきたが、酵素の、既存のものに代わる洗浄用途への要求がなお存在している。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２９】
本発明の更なる態様によれば、セルローゼまたはリパーゼ酵素を、酵素組成物に含むことができる。本発明を限定するものではないが、セルラーゼは、セルロースを含む、また

は他の汚れの結合点として作用するセルロース繊維を含む汚れを洗浄するのに有利であることができると信じられる。本発明を限定するものではないが、リパーゼ酵素は、脂肪、油脂、もしくはワックス、例えば動物または植物脂肪、油脂もしくはワックス（例えば、サラダドレッシング、バター、ラード、チョコレート、口紅）を含む汚れを洗浄するのに有利であることができると信じられる。セルラーゼおよびリパーゼ酵素の両方は、植物、動物または微生物、例えば、真菌または細菌から誘導することができる。セルラーゼもしくはリパーゼ酵素は、精製されるか、または抽出物の成分であることができ、そして野生型もしくは変異体のいずれか（化学的または組み換え型の、いずれか）であることができる。

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５８】
デンプン濃度を監視するのに加えて、顧客フィードバックと製品性能は、試験を通して変化せず、ガラス器上の縞（streaking）および斑点の量の有意な変化は、増加も低減のいずれもなかったことを示した。

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
洗浄水の寿命を延ばすための洗浄水源の清浄化方法であって、
（ａ）酵素組成物を水と接触させることによって使用水溶液を生成させること、該使用水溶液は、０．１ｐｐｍ～１００ｐｐｍの酵素を含んでいる、
（ｂ）該形成された使用水溶液を、該酵素組成物から流出させること、
（ｃ）該使用水溶液を洗浄水源と接触させること、該洗浄水源は、前の洗浄用途からの汚れを含んでいる、
（ｄ）該汚れを分解（digest）または分解（degrade）することによって、該汚れを除去して、清澄な洗浄水源を生成させるように、該使用水溶液で、該洗浄水源を清浄化すること、および
（ｅ）該清浄化された洗浄水源を、次の洗浄用途に再使用すること、
を含んでなる、洗浄水源の清浄化方法。
【請求項２】
前記酵素が、アミラーゼである、請求項１記載の方法。
【請求項３】
前記酵素が、プロテアーゼである、請求項１記載の方法。
【請求項４】
前記酵素が、リパーゼである、請求項１記載の方法。
【請求項５】
前記酵素が、アミラーゼ、プロテアーゼ、リパーゼ、セルラーゼ、クチナーゼ、グルコナーゼおよび／またはペルオキシダーゼ酵素の１種もしくは２種以上の組み合わせである、請求項１記載の方法。
【請求項６】
前記使用水溶液が、洗浄剤組成物を更に含む、請求項１記載の方法。
【請求項７】
前記洗浄剤組成物が、液体洗浄剤組成物または固体成型洗浄剤組成物である、請求項６

記載の方法。
【請求項８】
洗浄剤組成物を、該洗浄剤および洗浄水源と接触させた基材を洗浄するために加えることを更に含む、請求項１記載の方法。
【請求項９】
前記洗浄工程が、前記洗浄剤と接触させた複数の基材を洗浄することを更に含む、請求項８記載の方法。
【請求項１０】
前記基材が、布帛、器物、硬質表面、例えば健康管理機器、車両手入れ表面およびそれらの組み合わせからなる群から選ばれる、請求項９記載の方法。